豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	総合英語 I

科目基礎情報

科目番号	90011	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建設工学専攻A	対象学年	専1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	Present Yourself2 (Cambridge University Press)		
担当教員	市川 裕理		

到達目標

(ア)様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。
(イ)様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。
(ウ)英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができる。	様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を教員の助言を参考にしながら理解し、使用することができる。	様々な話題について書かれた英文を読み、関連する語彙や語法を理解し、使用することができない。
評価項目(イ)	様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。	様々な話題について、教員の助言を参考にしながら英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができる。	様々な話題について、英語によるディスカッションを行い、自分の意見を深めたり、意見交換をすることができない。
評価項目(ウ)	英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得する。	英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を教員の助言を参考にしながら習得する。	英語による効果的なプレゼンテーションを行うための知識・技能を習得できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 D2 語文献などの読解力と基本的な英語コミュニケーション能力を修得する。
JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
本校教育目標 ④ コミュニケーション能力

教育方法等

概要	様々な話題について、学んだことや経験したことに基づき、自分の意見や感想を英語を用いて表現し、意見交換できるようにすることを目標とする。さらに、英語を学ぶことを通じて、多様なものの見方や考え方を理解することで、思考力を養う。
授業の進め方・方法	教科書の内容理解を行った上(introduction)で、英語によるやりとり(interaction)と発表(presentation)を行い、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。授業は基本的に、調べ学習・意見交換・発表（個人またはグループ）の流れで行う。
注意点	英和辞典（紙または電子辞書）を持参すること。授業内容について、各ユニットの課題に取り組み、発表にあたっては、各自練習をした上で臨むこと。また、質疑応答、意見交換を行う際には、積極的に自分の考えを述べること。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、Getting ready演習	授業目標を理解し、Getting readyについて演習（ディスカッションとプレゼンテーション）を行うことができる。
		2週	A person to admireに関するディスカッション（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)
		3週	A person to admireに関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		4週	In the newsに関するディスカッション（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)
		5週	In the newsに関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		6週	Young people todayに関するディスカッション①（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)
		7週	Young people todayに関するディスカッション②（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	データをもとに自分の意見を表現したり、相手の意見を聞いて理解することができる。(Discussion)
		8週	Young people todayに関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
	2ndQ	9週	Let me explainに関するディスカッション①（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。（Discussion）
		10週	Let me explainに関するディスカッション②（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	事実と意見を分けて物事をとらえ、議論を行うことができる。（Discussion）
		11週	Let me explainに関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		12週	In my opinionに関するディスカッション①（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	様々な立場からディスカッションを行うことができる。（Debate）
		13週	In my opinionに関するディスカッション②（自学自習内容）テーマについて調べ学習をする。	様々な立場からディスカッションを行うことができる。（Debate）
		14週	In my opinionに関するプレゼンテーション（自学自習内容）発表原稿作成、練習する。	評価項目に沿って、プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		15週	総合英語 I のまとめ	これまでの内容を踏まえて、ディスカッションを行うことができる。

		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	定期試験	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
分野横断的能力	50	50	100